

日本火山の会：火山ファンのためのインターネットコミュニティ

Kazan Friendship Network: Online Community for the Volcano Fans

日本火山の会 竹内 晋吾 [1]

Shingo Takeuchi Kazan Friendship Network[1]

[1] -

[1] -

「日本火山の会」は火山に関心を持つすべての人に開かれたコミュニティである。本会では火山を災害の発生源という側面だけでなく、様々な恵みを私たちにもたらしてくれる存在としてとらえ、火山の自然と文化を日常的に親しみ、仲間と分かちあい、多くの人に伝えていくという目的のもとに様々な活動を行っている。本会はインターネットの中で2001年に誕生し、それ以来、火山ファンが集うコミュニティとして成長してきた。本会は、専門家だけでなく様々な立場のメンバーによって構成され、社会的立場や地域を越えた多くの人々の交流を実現している。

日常的なコミュニケーションはメイリングリスト（ML）で行われ、2008年2月現在、MLの参加者数は300人を超えている。MLで交換される話題は、国内外の火山活動速報、最新火山学研究、火山への旅行記、火山に関するイベントやエンターテインメント（TV番組、映画）など多岐にわたる。

本会ではさらにWEBページ (<http://kazan-net.jp/>) を通じて、さまざまな情報発信を行っている。例えば、火山に関する出版物の巨大なデータベースとして“火山ライブラリー”が製作され、日々更新されている。また火山専門家をうならせた小説として名高い「死都日本」（石黒耀著）に登場する風景や火山現象を豊富な画像と伴に解説する“画像でたどる死都日本”も人気のコンテンツである。これらのコンテンツは、会員同士でアイデアを出し合い、有志によって作成されている。

インターネット中での活動だけでなく、メンバー同士の直接交流の機会も設けている。火山でのオフラインミーティング（火山OFF会）では、火山が造った自然を楽しみ、かつての火山の荒ぶる姿に思いを馳せ、過去の災害の教訓を学ぶ。また火山との関わりの中で生まれた山麓の文化や特産品を火山ファン同士で堪能することも楽しみである。

火山の科学的理解を深め、火山の面白さを伝える活動として本会では、キッチン火山学実験の普及や火山図鑑翻訳プロジェクトに取り組んでいる。身近にある材料で誰でも簡単に火山現象を再現できるキッチン火山学実験は、火山だけでなく理科への関心を引き付けるのにもとても効果的である。WEBページを通じて実験のノウハウを発信するだけでなく、マスメディアへの情報提供や、各地で行われる実験イベントに出張するなどして、キッチン火山学実験を披露している。また現在、世界の火山を豊富な画像とともに紹介している“Volcanoes (Rosi et al., 2003)”の翻訳を、本会に所属する火山専門家を中心にしている。この本は「世界の火山百科図鑑（仮称）」として2008年内に出版される予定である。

地球惑星科学のアウトリーチという観点から見た火山の会が果たす重要な役割として、教育機関・学会などに属してなくても、火山学に触れ、その面白さを仲間と分かち合えるコミュニティであることが挙げられる。会の中では、火山専門家と一般市民が直接、火山の面白さについて語り合うことができる。火山専門家が異分野の専門家や一般の方の斬新な視点によって刺激を受けることもある。またMLを通じて、火山の話題に毎日触れることで、火山の存在を普段から意識し、より身近なものに変えられる。このことは、地球惑星科学の普及だけでなく、火山防災意識の啓発という点で効果的であろう。